

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期武豊町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県知多郡武豊町

3 地域再生計画の区域

愛知県知多郡武豊町の全域

4 地域再生計画の目標

【地理的及び自然的特性】

本町の交通網はJRと名鉄線が乗り入れており、武豊北インターチェンジが2026年2月に開通されるなど高速道路や国道等による名古屋方面へのアクセスも良いことからベッドタウンとしての性格を有しており、駅の周辺に中心市街地が形成されている。また、臨海部および内陸部の工業団地の製造業を中心として多様な業種の企業が集積しており、産業都市としての性格も有している。

【人口・年齢3区分別の人口】

人口は2025年10月1日現在43,262人（住民基本台帳）で、2020年の43,535人（令和2年国勢調査）をピークに、近年は減少傾向にある。

【年齢3区分別の人口】

年齢3区分別人口では、10年前と比較し、15歳未満の人口割合が約2ポイント減少し、13.0%、65歳以上の老年人口が約2ポイント上昇し25.1%（住民基本台帳）となるなど徐々に少子高齢化が進行している。

【自然増減・社会増減】

自然増減数で見ると、出生数の減少の影響による自然減が続いており、2024年度は過去5年間で最低の自然減220人となっている。一方で、社会増減数で見ると、2024年度は社会増222人で、過去5年間では最高の社会増となっている。

【『地域の現状』の原因となる、地域の課題】

将来推計では、本町の人口はこのまま微減を繰り返し、2030年には約43,000人まで落ち込むと推計されている。今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、生活必需サービスの維持、確保が困難となるほか、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

【『地域の課題』で分析した課題を解決するための取組】

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、人口の社会増のほか、関係人口の増加や、人口減少下においても、生活サービスが維持できるよう、多様な主体と連携し、サービスの維持・向上を目指す。なお、これらの取組に当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 若者や子育て世代に選ばれるまち
- ・基本目標2 産業が持続・発展する活力あるまち
- ・基本目標3 安心して暮らせる新たな魅力と活力を創出するまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	出生数	295人	300人	基本目標1
ア	子育てしやすさの満足度	33.9%	45.0%	基本目標1
ア	若者世代の社会増	56人	60人	基本目標1
イ	製造業売上 (1事業所あたり)	210,622万円	253,000万円	基本目標2
イ	製造業の従事者数	5,720人	6,000人	基本目標2
イ	まちの駅「味の蔵たけと	94,667人/年	105,000人/年	基本目標2

	よ」の年間購買数			
ウ	住環境への満足度	50.6%	55.0%	基本目標3
ウ	まちづくり活動への参加率	42.7%	50.0%	基本目標3
ウ	病院や休日診療等の受診しやすさへの満足度	33.0%	335.0%	基本目標3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

武豊町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 若者や子育て世代に選ばれるまちになる事業

イ 産業が持続・発展する活力あるまちになる事業

ウ 安心して暮らせる新たな魅力と活力を創出するまちになる事業

② 事業の内容

ア 若者や子育て世代に選ばれるまちになる事業

人口減少や少子高齢化が進む中、こどもを産み育てやすい環境づくりや女性が活躍できるまちづくりを進め、若者や子育て世代が住んでみたい・働いてみたいと選ばれるまちを目指す事業。

- ・若者、子育て世帯に寄り添った結婚・出産・子育て支援の充実
若者の結婚、出産、子育てについて安心できるように若者や子育て世代に寄り添った支援を行う。子育てと仕事の両立ができるよう、多様なニーズに対応した子育て支援策の充実を図ります。

- ・豊かな心を育むためのこどもの応援

こどもが安心して遊べる環境づくり、多種多様な体験学習の機会づくり、地域ぐるみでこどもを見守る体制づくりを進める。虐待やいじめ、不登校などで悩んでいるこどもへの相談体制の拡充や居場所づくり、学びの環境づくりを推進します。

- ・若者や子育て世代を意識したタウンプロモーション

SNSや広報媒体を積極的に活用し、町内外へ向けてまちの魅力情報を発信し、武豊町の認知度向上を図る。移住、定住支援策の充実や、まちの暮らしやすさのPRなどを行います。

- ・まちへの愛着心の向上によるシビックプライドの醸成

まちの魅力を再発見できる機会や魅力の発信の充実を図る。誰もが、気軽に参加できるイベントを充実させます。

【具体的な事業】

- ・結婚新生活支援補助事業
- ・産後ケア事業
- ・放課後児童クラブ運営補助事業
- ・コミュニティ・スクール事業
- ・こども子育て相談事業
- ・地域クラブ活動支援事業
- ・住民との協働によるSNSを活用した情報発信事業
- ・タウンプロモーション動画の作成
- ・アダプト・プログラムの推進 等

イ 産業が持続・発展する活力のあるまちになる事業

地域資源や特産品の価値向上を図るとともに、ICTやAI等の新技術の活用、公民連携を通じて、地域内での経済循環や交流・関係人口の拡大を図り、地域の産業が持続的に発展する活力あるまちを目指す事業。

- ・地域の文化・歴史・観光資源を活かしたまちの魅力向上
みそ・たまり、寺社、鉄道の歴史などの多様な資源を活かして誘客を図り、回遊性を高めながら、にぎわいの創出を図ります。地域資源を活かしたイベントや新たな観光コンテンツの創出等により、町外からの訪問・滞在・交流を促進します。
- ・地域産業の持続・発展と新たな産業の創出
中小企業の設備投資などの経営基盤の強化、経営改善等に向けた支援を行う。地域の課題解決のほか新たな産業の創出に向け、企業参入の促進や創業・起業支援を強化します。企業の女性活躍支援・働き方改革を通じて、誰もが強みを発揮できる職場環境づくりを促進します。
- ・地元産品の消費の推進と更なる販路開拓
地元産品の付加価値の向上、地産外商などの新しい販路の開拓など、地元産業が持続的に成長できるように支援します。地産外商の一環として、ふるさと納税の返礼品の拡充に向け、新たな事業者の開拓、商品開発支援などを進めます。
- ・駅周辺及び公共交流拠点におけるまちづくり
名鉄知多武豊駅周辺の交通網の再構や、公共機能の移転検討など魅力的な駅前となるようなまちづくりを進めます。名鉄知多武豊駅と JR 武豊駅周辺への店舗の立地誘導のほか、公共交流拠点を中心とした交流や暮らしの拠点づくり、にぎわいづくりを進めます。

【具体的な事業】

- ・発酵食文化ロゴ、パンフレット作成
- ・たけとよめし推進事業
- ・中小企業者等応援補助事業
- ・創業支援補助事業
- ・発酵食文化振興事業
- ・中小企業応援補助事業（ふるさと納税返礼品開発事業）
- ・地元産品のブランド化

- ・名鉄知多武豊駅東土地区画整理事業の推進
- ・公共交流拠点整備事業の推進 等

ウ 安心して暮らせる新たな魅力と活力を創出するまちになる事業

人口減少や少子高齢化に伴って買い物、交通、医療、介護などの生活必需サービスの低下やコミュニティ機能の縮小が進む中においても、生涯にわたって安心して暮らし続けられるよう、住民、地域、企業などの多様な主体が連携しながら新たな魅力と活力を創出するまちを目指す事業。

・健康でいきいきと暮らせるまちづくり

全世代が安心して暮らし続けられるよう、必要な医療を受けられる体制づくりのほか、町民の生きがいつくりや健康づくりを進めます。

コミュニティバスや接続タクシーなどにより、交通空白地帯の解消を図るとともに、幅広い年齢層の方が利用できるよう、コミュニティバス等の地域公共交通の充実を図る。

・安全・安心なまちづくり

災害発生時における被害を最小限にするため、公共施設・住宅等の耐震化、空き家等対策、防災設備・資機材の充実を進めます。避難訓練等の各種防災対策や避難支援体制の整備に取り組み、地域の防災力や災害対応力の向上を図る

・環境にやさしいまちづくり

ごみの減量化や資源化への意識の浸透を図るため、ごみのポイ捨てや不法投棄の防止に向け、地域ぐるみの清掃活動やパトロール活動等を推進する。また、ゼロカーボン社会の実現に向け公共施設等の省エネを推進します。

・多様な生き方が認められ、誰もが活躍できるまちづくり

多様な価値観や生き方を互いに認め合い、安心して暮らし続けられる地域共生社会の構築を目指す。乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージにあった生涯学習プログラムを提供する。

- ・将来のまちづくりを担う人材の発掘と育成

地域の中心となってまちづくりに携わる担い手を発掘・育成します。地域課題の解決や住民サービスの向上に対し、多様な主体と連携し公民連携によるまちづくりを推進します。

【具体的な事業】

- ・子ども医療費助成事業
- ・健康スマイレージ事業
- ・公共交通ネットワーク形成事業
- ・被災者生活再建システムの活用
- ・個別避難計画作成事業
- ・地域への環境美化活動支援
- ・資源回収エコステーション運営事業
- ・生ごみ堆肥化容器設置補助事業
- ・提案型協働事業交付金制度の推進
- ・公民連携事業の推進
- ・重層的支援体制整備事業
- ・男女共同参画推進事業
- ・多文化共生事業
- ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度 等

※なお、詳細は第3期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

6,000,000 千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

内部会議である「総合戦略推進本部会」や「総合戦略プロジェクトチーム」、産官学金労言士の代表者及び住民で構成される「たけとよみらい会議」において KPI 等の進捗状況を踏まえた施策・事業の効果の検証を行い（Check）、KPI、事業・取組の軌道修正を行う（Action）一連のプロセス

を実行することでPDCAサイクルを確立し、施策の効果的な推進を図る。また、検証後速やかに武豊町の公式ウェブサイトの結果を公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで